

平成20年度

事業報告書

ともえ学園

1 利用者の状況

1) 1年間の入所者状況

月	月初在園数	入 所	退 所	月末在園数
4	70	0	0	70
5	70	0	0	70
6	70	0	0	70
7	70	0	0	70
8	70	0	0	70
9	70	0	0	70
10	70	0	0	70
11	70	0	0	70
12	70	0	0	70
1	70	0	0	70
2	70	0	0	70
3	70	0	0	70
計	70	0	0	70

2) 短期入所事業受入状況

月	受入人数	受入回数	受入延べ日数	備 考
4	3	7	21	
5	4	8	22	
6	2	7	22	
7	2	6	23	
8	4	8	25	
9	3	7	26	
10	4	8	26	
11	4	9	27	
12	2	4	12	
1	2	6	19	
2	3	7	23	
3	3	6	15	
計	36	83	261	

3) 日中一時支援事業受入状況

月	受入人数	受入回数	受入延べ日数	備 考
4	1	1	1	
12	1	1	1	
3	1	3	3	
計	3	5	5	

4) 在所者状況(平成21年3月31日現在)

年 齢	男	女	計
18～20歳未満	0	0	0
20～25歳未満	3	0	3
25～30歳未満	5	0	5
30～35歳未満	8	1	9
35～40歳未満	15	0	15
40～45歳未満	21	3	24
45～50歳未満	9	0	9
50～55歳未満	3	0	3
55歳以上	2	0	2
計	66	4	70

在 園 年 数	男	女	計
0～1年未満	0	0	0
1～5年未満	6	1	7
5～10年未満	5	0	5
10～15年未満	35	2	37
15～20年未満	4	0	4
20年以上	16	1	17
計	66	4	70

診 断 名	男	女	計
自閉症	47	3	50
精神発達遅滞	11	0	11
てんかん	5	0	5
統合失調症	2	1	3
その他	1	0	1
計	66	4	70

支援費支給区分	男	女	計
A	56	4	60
B	10	0	10
C	0	0	0
計	66	4	70

出身市区町	男	女	計
広島市中区	3	1	4
広島市東区	2	1	3
広島市南区	5	1	6
広島市佐伯区	6	0	6
広島市安佐北区	3	0	3
広島市安佐南区	4	0	4
広島市安芸区	1	0	1
大竹市	1	0	1
呉市	8	0	8
福山市	5	0	5
廿日市市	1	0	1
三次市	4	0	4
東広島市	1	0	1
尾道市	2	0	2
竹原市	1	0	1
江田島市	1	0	1
庄原市	1	0	1
山県郡北広島町	1	0	1
安芸郡熊野町	1	0	1
世羅郡世羅町	1	0	1
島根県松江市	2	0	2
山口県防府市	2	0	2
山口県周南市	1	0	1
山口県岩国市	2	0	2
山口県下関市	1	0	1
山口県熊毛郡平生町	1	0	1
高知県高知市	1	0	1
岡山県真庭市	1	0	1
富山県富山市	1	0	1
石川県津幡町	0	1	1
長崎県長崎市	1	0	1
東京都渋谷区	1	0	1
計	66	4	70

2 トライアングルグループ

1 グループ目標

利用者自身の自己決定、自己選択を尊重する。
ひとり一人が安定した生活を送られるよう支援する。

2 生活

目 標

基本的な生活習慣の確立を目指す。
健康、清潔の維持に努める。

内 容

衣 類 整 理：衣類を洗濯室から自室に持ち帰り、整理し入浴の準備を行う。

パジャマの準備ができたなら脱衣室の棚へ持って行く。

時間を分け、支援の必要な方は職員が側について一緒に行く。

シーツ交換：毎週日曜日に、職員と共に自分のシーツを交換する。

汚れている物は随時交換する。

失禁等で寝具が汚れやすい方については、個別に敷きパット等を使用し、なるべく寝具が汚れないように配慮した。

衣 類：季節に応じた衣類、好みや使いやすさに配慮したものを提供した。

掃 除：汚れたらすぐ掃除を行う。毎朝各部屋の拭き掃除を行う。

廊下の水拭きをする。一日一部屋確実に掃除をする。

トイレは1日3回以上掃除を行う。チェック表を作成しチェックしながら行った。

歯 磨 き：歯磨きチューブを使用し毎食後、確実に仕上げ磨きを行う。

入 浴：体調の悪い人以外は毎日入浴し清潔を保つ。

同性支援で行いゆっくり入ってもらようよう配慮する。

食 事：落ち着いて食べて頂けるよう配慮する。

苦手なものは少し量を減らす等、個別に対応する。

- ・月1回血圧、体重体脂肪測定を行い増減をチェックする。（健康状態の把握）
- ・毎週土曜日の午前、爪切り、耳掃除、その他身だしなみをチェックする。
- ・うがい、手洗い、手指消毒の励行。
- ・入浴後のケア：頭髪をドライヤーで乾燥させる。皮膚疾患・怪我等の薬を塗布する。
- ・受診：歯磨き時に口腔、入浴時には全身をチェックし必要に応じ受診する。
- ・生活用品の補充（ジャンボロール・ハミガキチューブ・歯ブラシなど）を徹底する。
- ・髭剃りの個人持ち：管理は職員が行い、掃除も一日おきに行う。充電を週1回日曜日に行う。

まとめ

- ・ジャンボロール使用状況を作成する事で、使用頻度を把握できた。
- ・個別の利用者を対象に排便記録表を作成し、日にちや時間帯を把握できた。
- ・入浴後のみだった薬付けを、朝食後にも行い傷については早い治癒へつながった。

3 日課

目 標

- ・日課の流れをスムーズにする事によって、混乱を防ぎ、利用者の安定につなげる。

- ・職員の役割分担を明確にし、スムーズに支援できるようにする。

内 容

掃除について

- ・放尿がみられる居室のレール掃除
- ・廊下の掃除を毎日夜勤者が行う。また時間があれば壁の掃除も行う。
- ・早出のトイレ掃除は、日勤者が休憩から出て（13：30）きてから行う。
トイレ誘導は掃除前にしておく。

トイレ誘導について

- ・日中のトイレ誘導は昨年度の7名から12名にする。（活動時や散歩時など外に出たときに放尿がみられるため）
日中のトイレ誘導する時間を明確にする。起床時・間食前・散歩前・入浴前・眠剤服薬後
夜間のトイレ誘導は6名とし、0時と4時に行う。

ロッカーの施錠について

- ・服破りや必要以上の更衣が見られ、6名だったが8名に変更した。

午後の日課（散歩）について

- ・原則的に山の遊歩道を1周することとし、人数確認の場所などを決め日課係で計画書を作成した。天候や暑さ、寒さによりその日のリーダーの判断で山、学園周り、室内で行うかを決めた。

まとめ

- ・午後の日課の散歩は計画書を作成したので、誰が勤務の時でもわかりやすく、徹底できた。また、その日のリーダーの判断で、場所や調子などが悪く行かない人などを決めてスムーズに行っていた。
- ・トイレ誘導により放尿が激減した。今後も継続していきたい。
- ・ロッカーの施錠についても継続し、施錠しない所も不必要な衣類は置いておかないように徹底していきたい。

4 行事

目標

- ・利用者個々に応じた行事を提供する。
- ・季節感を実感したり、様々な体験をしてもらえる事で充実した生活を送ってもらう。

内容

月	日	行 事 名	参加人数	場 所
4	26	お花見	25名	学園ハウス周辺
5	13	お楽しみ外出	2名	みよし公園・ジョイフル
	21	宿泊旅行	4名	倉敷チボリ公園・岡山後楽園
	24	バスドライブ	23名	みよし風土記の丘
	24	お楽しみ外出	4名	高谷山
6	9	ドリームサーカス	22名	三次運動公園・特設会場
	18	宿泊旅行	3名	みろくの里・みつぎグリーンランド
	24	お楽しみ外出	2名	作木カヌー公園

	28	お楽しみ外出	3名	布野福祉センター
	28	バスドライブ	22名	三次市内
7	9	日帰り旅行	2名	甲山ふれあいの里
	15	お楽しみ外出	4名	三次風土記の丘
	22	お楽しみ外出	3名	ココス三次店・尾関山公園
	26	夏祭り	25名	プレイルーム・多目的棟
8	23	お楽しみ外出	3名	世羅高原農場
		バスドライブ	22名	三次風土記の丘
	26	お楽しみ外出	3名	カルチャーセンター
9	10	宿泊旅行	4名	フォーゲルパーク・三瓶自然館
	21	日帰り旅行	2名	呉方面・大和ミュージアム
	27	バスドライブ	22名	君田遊園
	27	お楽しみ外出	3名	尾関山公園
10	13	親子レク	25名	フルーツランド布野
	22	宿泊旅行	3名	せら夢公園・大和ミュージアム
	28	お楽しみ外出	3名	庄原運動公園
11	22	お楽しみ外出	3名	土師ダム
	22	バスドライブ	22名	庄原運動公園
	25	お楽しみ外出	3名	高谷山公園
12	16	お楽しみ外出	3名	湖畔の森
	27	忘年会	25名	大作業室
1	24	新年会・初詣	25名	大作業室・天津神社
	27	お楽しみ外出	4名	庄原方面
2	24	お楽しみ外出	3名	三次公園
	28	お楽しみ外出	3名	ナガタニ・ワイナリー・喫茶
	28	バスドライブ	25名	口和運動公園
3	10	お楽しみ外出	2名	県立みよし公園
	14	バスドライブ	25名	市内ドライブ
	18	日帰り旅行	3名	尾道

まとめ

- ・グループ会議の後に、季節の行事・お楽しみ外出・バスドライブを実施した。
外出を増やしたことで利用者に楽しみの場を増やすことで生活が安定した。バスドライブとお楽しみ外出を同日に行うことで、人数配分が良くゆっくりと過ごすことができて良かった。
- ・宿泊旅行・日帰り旅行を計画する事で、個々に応じた場面を設定する事ができた。
- ・親子レクでは、リンゴ狩りを行いご家族の方とゆっくりとした時間を過ごしていただいた。

5 環境

目的

- ・快適で安全に過ごせる環境整備を行う。

内容

- ・掃除のチェック表を作成し、毎日1部屋づつ順番に掃除を行った。
- ・クリーンボーイを使用し、生活棟の加湿を行った。
- ・リビングのソファを新しく購入し、過ごしやすい環境作りに取り組んだ。

まとめ

- ・毎日の居室掃除を行う事で、清潔な生活環境を維持出来た。同時に季節に合わせたベッド等の配置や破損箇所の確認が出来た。
- ・空気の乾燥の防止やウィルスの感染への対策として加湿を行う事で意識が広がった。
- ・クリーンボーイの消臭の使用が確実にできていなかった。

6 グループ会議

目的

利用者により良いサービスを提供できるように支援内容、各活動についての課題を協議する。
ケースカンファレンスを行い支援の方法、見直しを行う。

内容

- 4月...日課の確認、短期利用者の対応について、午後の日課について
- 5月...人権について、寝具について、ケースカンファレンス(2名)
- 6月...食生活について、衣類整理の再確認、ケースカンファレンス(2名)
- 7月...人権について、髭剃りの掃除、保管方法、ケースカンファレンス(1名)
- 8月...人権について、親子レクについて、ケースカンファレンス(2名)
- 9月...行動規範の唱和について、親子レクの最終確認、ケースカンファレンス(6名)
- 11月...与薬マニュアルについて、人権について、ケースカンファレンス(5名)
- 12月...日課の再確認、行動規範について、食事準備について、ケースカンファレンス(1名)
- 1月...人権について、遅出の休憩時間について、ケースカンファレンス(4名)

薬つけについて

- 2月...各係のまとめ、予備衣類について、食事前服用の薬について
- 3月...入浴について、ケースカンファレンス(4名)

経過、課題

- ・会議の進行がスムーズではなく、連絡事項だけで終わってしまう事が多かった。また他の部署との意見交換が少なかったので来年度は積極的に意見交換をしていきたい。
- ・全員のケースカンファレンスができなかったが、直ぐに対応しなければいけない利用者についてはその都度話し合いをし支援方法を考えた。
- ・活発な意見が出るよう議題の提案を早めに行い、それぞれが考えをまとめて参加し、利用者のより良い生活が送られるよう意見を出し合い討論出来る場にしていきたい。また意見を引き出せるような進行を心掛けなければいけない。

7 まとめ

今年度は職員の変更も殆どなかったせいか利用者の方は混乱も少なかった。クラブ活動も定着し利用者の方も平日の午前中はクラブ活動、午後からは散歩という一日の流れが安心出来る要素となっていたように思う。

食事場面については、時間のかかる人には早めに食事を開始してもらいゆっくりと食べられる時間を確保し、また個別に支援の必要な方には職員が支援出来る時間を設定した。

入浴については、一度に入浴するのではなく少人数づつ入浴できるよう見直しが必要である。

来年度にはよりよい方法を確立し、利用者の方が落ち着いて入浴できるよう、安全の確保、薬付けの徹底、また個別の支援が行えるようにしていきたい。

環境面ではトイレを中心に生活棟内の掃除の徹底を行い、清潔な環境づくりに努めた。今後も利用者の方が穏やかに安心して過ごせる環境づくりを行っていきたい。

一人ひとり違うので対応も個々に応じ、利用者の立場に立って考え、柔軟な対応、関わり方について日々考えて支援したい。

(藤田由香里、中田和弥、木村美代子、野曾原光裕、有田貴之、荒瀬好司、渡邊 武、堂西美保、桑田樹実)

3 レインボーグループ

1 グループ目標

- ・言語的、非言語的コミュニケーションのあり方を考えた対応をし、安定し、穏やかに生活できるよう個別配慮をした支援をする。
- ・体力作り、健康保持を考慮したプログラムを考える。
- ・安全で清潔な環境を提供する。

2 生活

1) 生活全般

目的

- ・基本的生活習慣の確立を目指す。
- ・快適な生活環境の確立。
- ・衛生的で清潔な生活空間の確保。

内容

〔生活〕

食 事：ゆっくり・美味しくをモットーに個別配慮する。

入 浴：個々のペースにあわせた誘導、支援をする。介助しながら洗髪・洗体の自立を目指す。又怪我等無いかの全身チェックをする。

排 泄：個々に応じた排泄誘導、又確認による健康状態の把握に努める。
排泄後始末介助と援助（ペーパー使用）。

運 動：午前の集い前ラジオ体操第1、午後の集い前ラジオ体操第2を行う。

寝 具：週一回シーツ交換、又日常的汚れはその都度交換する。

衣 類：年2回の衣替え・適宜補充。季節に応じた衣類調整等の気配りをする。
衣類の破れなどは速やかに修正などを行い、身だしなみに気をつける。

日用品：定期的確保による常備。

掃除の徹底による安全・清潔な生活空間の確保。

〔衛生〕

手洗いの励行：飲食前・外出後・クラブ活動後、手を添える等個別支援による確実な手洗い。
シャボネット・タケックスクリーン使用。タオル、手指乾燥機による確実な拭き取り。

口腔：毎食後の歯磨き実施。定期歯科受診。歯ブラシの交換。

外出後・クラブ活動後にはイソジンによる口腔内消毒。

洗顔・髭剃り：毎朝、朝食後に濡れタオルでの顔拭き及び、電気カミソリでの髭剃り実施。

散髪：定期的実施。

血圧：毎月1回。

体組成測定：毎月一回。

爪切り・耳かき：週一回。

薬付け：入浴後個々に応じた軟膏塗布（あかぎれ防止、痔の治療等）。および、朝食後、昼食後にすり傷、切り傷等のイソジン消毒や軟膏塗布、点眼など、その時の利用者の状況に応じた処置をする。また、その処置を記録表に記入し、確実に実施。

加湿：感染症予防対策でクリーンボーイ(室内浄化機)による加湿を冬場1日1回以上行った。

経過、課題

健康状態のさらなる観察が必要となってくると思われる。身体変調等日頃の様子観察を怠らない、又看護との連携を密とし、細かいことでも看護に相談を行っていくと同時に、迅速な受診体制を構築する。

2) 活動

目的

- ・健康で規則正しい生活を行う。（健康維持・管理）
- ・生活にメリハリを付ける。

内容

- ・午前活動と午後活動に分けて実施した。午前クラブ活動では、月曜日～金曜日に実施。
きのこクラブ（12名）…ホダ木の移動（雨天、冬季はセンター内ウォーキング）
いきいきクラブ（9名）…生活棟周辺のウォーキング
毎月最後のクラブ活動日には月例会を行った。
- ・午後の活動は主に散歩を行った。

経過、課題

- ・クラブ活動も3年目に入り利用者も落ち着いて参加されるようになった。しかし個々に適した配置に付くことが難しく今後の課題である。
- ・体調不良などで活動不参加になった方もいたが、一年を通じて全員がクラブ活動に参加して頂くことが出来た。
- ・午後の活動が今年度もウォーキング中心となったが、ウォーキング以外のレクリエーション的な取り組みがほとんど出来なかった。来年度は利用者の方が楽しく過ごして頂ける時間を提供できるようにしたい。

3) 個別活動

目的

- ・個々に合ったことを楽しみながら行い、安定を図る。
- ・職員との関係づくり。

内容

- 毎週日曜日のお昼に家へ電話をかける。（1名）
- 毎週日曜日、職員と一緒に1週間のカレンダー作り。（1名）
- ワープロ（1名）
- ラジオ、音楽鑑賞（1名）

1回/月 外出(2名) 内容～ドライブ、買い物、図書館

午後からDVD鑑賞(6名)(鑑賞を好まれると思われる方が対象。センター和室にて、置いてあるDVD(NHK教育番組やアニメ)の中から好みの物を選んで貰い、鑑賞する。どの様なDVDが好むか、どの様な場面を興味示しているかなど、利用者の方の示している興味や表情、新たな一面を職員も気づき、知る為の取り組み)

午後からはスヌーズレン(2名程度)(ありのままの自分を楽しめるよう、光、音、におい、振動、温度、触覚、様々な五感に優しく訴えることのできる美しく備えられた空間作りをし、利用者の方のペースや興味や気持ち良さをけっして損なわないよう、ゆったりと利用者の方の側において、支援者も心地良い体験を共感し、楽しむための取り組み)

経過、課題

- ・個別を行うことによって楽しみ、励み、生活の安定に繋がっていると思う。
- ・今年度はスヌーズレンを一時中断し、利用者一人一人と個別の時間を過ごした。時間や場所職員の配置などにも考慮して来年度も実施できるよう考えていきたい。また、外出することで励みや安定に繋がる利用者の方には個別外出できるように考えていきたい。

4) 環境

目的

- ・建物備品の損傷にすばやく対応し、修復に努める。
- ・生活感のある空間を利用者に提供する。
- ・生活棟の衛生環境維持。

内容

- ・外泊期間中にグレーチング、フィルター、トイレ黄ばみ、倉庫の掃除、部屋の換気をした。
- ・壁や戸、カーテンの補修などの損傷箇所があった時には随時営繕を行い、二次的災害を防いだ。
- ・トイレチェック表をトイレ倉庫に貼り早出、日勤、遅出、と時間を決めてトイレの臭いや、トイレットペーパーの有無の確認を行った。
- ・リビングにソファを購入し、利用者に生活感のある空間を提供した。
- ・夏場毎週日曜にシーツ交換後人数を決め布団乾しを行った。
- ・随時窓が汚れた時はその都度綺麗に拭いた。
- ・トイレ、居室の掃除など衛生的に過ごせる生活棟を維持するため、道具の整備、補充を行った。
- ・温度計と湿度計をリビングにつけてもらい湿度が低い場合クリンボーイをかけ加湿した。
- ・クリーンボーイ(室内浄化機)を使用して、居室の脱臭・除菌を行い、冬場は毎日1～2回程度、生活棟内の加湿も行った。
- ・倉庫の衣類など、分けて分かりやすいように保管・表示した。

経過、課題

- ・カーテンが壊れていたり部品がなかったりあったが、一部を除く他の利用者には綺麗なカーテンを提供出来た。
- ・去年の課題通りトイレの臭いを少しでも軽減する為にトイレチェック表を作りこまめに掃除が出来て臭いもほとんどなくなった。
- ・壁の損傷(穴など)が多かったが営繕係に頼んで修復してもらった。綺麗になった。

- ・ソファも購入出来よく利用者には使ってもらっている。
- ・夏場の布団干しが曖昧になりなかなか出来なかった

5) ホームページ

目的

ホームページを通じて利用者の生活や様子を、ご家族や各方面に発信する。

内容

行事や日課、日々の生活風景等を定期的に紹介した。

定期的に壁紙やアイコンを季節に応じた物に変更する。

経過・課題

撮影対象者の一ヶ月ごとの表を作成した。

不適切な表現が無いように注意しながら、学園の様子を紹介する。

より充実した内容となるよう色々なところに視点を置いて写真や文章を工夫していく事が今後の課題である。

6) 日課、日誌

目的

- ・だれにでも分かる日課表の作成。
- ・利用者の状況に応じた日誌の変更。

内容

- ・一日の流れと一週間の流れを分かりやすく記載した。
- ・表面上に出ていない日課の流れを確認して記載した。
- ・排泄状況の確認の為、2名を追加した。
- ・状況に応じて変更を行った。

経過、課題

- ・利用者の対応を優先するばかりに、臨機応変な面が多くあった。日課に沿った流れをもう一度見直し、必要であればグループのマニュアルを変更する必要がある。

3 行事

1) 誕生者外出

目的

- ・自分の誕生日だということを少しでも感じてもらえる外出を提供する。

内容

- ・誕生日の日に午後から外出をする。

誕生日	年齢	誕生者外出先
4月16日	43歳	三次運動公園
4月23日	33歳	コンビニ、みよし公園
6月17日	31歳	喫茶店、布野道の駅
7月27日	60歳	C.Cプラザ
7月27日	41歳	C.Cプラザ
8月5日	44歳	C.Cプラザ、三次運動公園
8月9日	42歳	C.Cプラザ
8月31日	40歳	C.Cプラザ、親水公園

9月28日	46歳	君田温泉
10月9日	34歳	喫茶店、みよし公園
11月3日	37歳	コンビニ、吉舎尾崎山公園
11月10日	40歳	喫茶店、ナガタニ
11月20日	44歳	吉田ゆめタウン、安芸高田市立図書館
11月24日	42歳	コンビニ、三次運動公園
11月26日	38歳	コンビニ、三次運動公園
12月13日	36歳	サングリーン
12月25日	53歳	コンビニ、布野道の駅
1月19日	40歳	コンビニ、ナガタニ、喫茶店
2月10日	22歳	コンビニ、喫茶店、三次運動公園
2月15日	31歳	コンビニ、ジョイフル

経過、課題

- ・お祝いの言葉や外出先でケーキセット等を注文する事等から自分の誕生日を理解、またはいつもの外出と異なる外出だと意識される方もおられた。
- ・自分で希望を表現できる方にはその希望に沿った外出を提供できたと思う。
- ・誕生日の外出と、それ以外の外出との区別がつかない方もおられ、誕生日だと言う事を少しでも感じてもらえるような外出にしていく事が課題である。

2) レクリエーション

目的

- ・季節感のあるレクリエーションを提供する。

内容

4月12日	お花見会（園芸ハウス下広場）
6月9日	スーパードリームサーカス『西遊記』観覧（みよし運動公園特設会場）
8月2日	夏祭り（多目的棟）
12月6日	忘年会（プレイルーム）
1月10日	新年会（プレイルーム）・初詣（天津神社）
2月14日	お楽しみレク（プレイルーム）

経過、課題

- ・季節の行事を行うことで、四季の移り変わりを感じてもらえたと思う。
- ・6月のスーパードリームサーカス観覧はみなさんととても落ち着いて観覧されると共に、みなさんの感激された様子が伝わってくるくらい印象に残った行事であった。しかし、体調を崩された2名が参加できなかったのは残念であった。
- ・初詣は雪の為、天津神社に急遽変更した。
- ・2月の「お楽しみレク」は、バレンタインデーと重なり、ゲームに全員が参加されるとともに、参加者には女性職員からハート型チョコレート提供し、間食にはチョコレートケーキを提供するとみなさんととても喜ばれた。

3) バスドライブ・バスハイキング

目的

- ・利用者全員で好きな缶飲料を自動販売機で購入して飲む。

- ・ドライブすることによって気分転換をはかる。
- ・屋外でお弁当を食べて楽しむ。
- ・ハイキングする事で季節を感じる。

内容

- ・レインボー会議の午後からマイクロバスでドライブし、自動販売機で自分の好きな缶飲料を購入してもらったり、昼食のお弁当を持ってドライブし、山や公園で食べたり、散歩や遊具で楽しんだ。

月 日	行き先	参加人数
5月10日	みよし公園	21名
6月14日	風土記の丘	22名
7月12日	上野公園	21名
9月 6日	君田遊園	21名
11月 8日	常清滝	21名
3月 7日	尾関山公園	21名

経過、課題

- ・利用者は大変楽しみにされていた。
- ・行き場所については、時間的かつ利用者の体調面等々の配慮から限られてしまった。また、天候不良から行き先を変更したこともあった。
- ・一度だけ個別の外出が重なり、参加出来ない方が1名おられたが、ほとんどの行事に全員が参加された。
- ・3月の外出では、間食にハンバーガーを購入して提供。皆さん喜ばれた。

4) 外出

目的

- ・外出することにより気分転換をはかり、日常生活の励みにする。
- ・好きなものを購入したり、食べたりして外出を楽しみ、職員との信頼関係を築く。

内容

月 日	内 容
5月 7日	カフェ外出：三次運動公園
5月 20日	カフェ外出：安芸高田市立図書館
5月 28日	カフェ外出：三次運動公園、マクドナルド
6月 3日	カフェ外出：みよし公園、ユーホー
6月 10日	カフェ外出：三次市立図書館
6月 25日	カフェ外出：土師ダム
7月 1日	カフェ外出：備北丘陵公園、コンビニ
7月 8日	カフェ外出：安芸高田市立図書館
7月 12日	カフェ外出：シュープラザ、マクドナルド
7月 17日	カフェ外出：高宮道の駅
8月 19日	ランチ外出：ニュージーランド村、コンビニ
8月 26日	カフェ外出：三次市立図書館

9月 5日	カフェ外出：サングリーン、三次運動公園
9月 9日	カフェ外出：親水公園、コンビニ
9月 16日	カフェ外出：安芸高田市立図書館
9月 24日	ランチ外出：せら夢公園、ジョイフル世羅店
10月 2日	ランチ外出：ジョイフル吉田店、カラオケ「ひで」、コンビニ
10月14日	カフェ外出：三次運動公園、コンビニ
10月23日	ランチ外出：尾道図書館、浄土寺、ファミレス、コンビニ
10月28日	カフェ外出：君田温泉（はらみちを美術館）
11月11日	カフェ外出：庄原運動公園
12月 2日	カフェ外出：平田観光農園、尾関山公園、コンビニ
12月 9日	カフェ外出：安芸高田市立図書館
12月15日	ランチ外出：呉マリンポウル、ファミレス、コンビニ
1月 8日	カフェ外出：吉田ゆめタウン
1月13日	カフェ外出：ナガタニ、サングリーン、三次運動公園
1月22日	カフェ外出：C.Cプラザ、みよし公園
1月27日	カフェ外出：三次市立図書館
2月 5日	カフェ外出：庄原備北丘陵公園
2月17日	カフェ外出：美土里温泉（神楽門前湯治村）
2月24日	カフェ外出：安芸高田市立図書館
3月 5日	カフェ外出：備北丘陵公園
3月12日 ～13日	宿泊旅行：倉敷美観地区周辺、福山市立動物園
3月17日	カフェ外出：庄原上野総合公園、コンビニ
3月24日	カフェ外出：三次市立図書館

経過、課題

- ・外出して好きな物を購入したり、好きな物を飲食され皆さん嬉しそうにされていた。また、日常生活の励みにされている人も数名おられた。
- ・学園内では見られない表情や動作もあり、いろいろな発見も多くあった。また、1対1の外出が主だったので利用者との関係づくりもできたのではないかと思う。
- ・来年度は外出回数をもっと増やしていきたい。また複数人数で1日かけた外出も考えていきたい。
- ・一名の利用者から希望が強くあり、宿泊旅行を行った。内容もその利用者の希望通りに実施した。来年度は、レインボー利用者の半数程度、もしくは全員が旅行やキャンプに参加して頂けるような均一的なサービスをするようにしていきたい。
- ・利用者の負担にならない、また何を外出で求めているのかをよく考えて、個々に合った計画を立てていきたいと思う。

5) 親子レクリエーション

目的

利用者・ご家族・職員の親睦を深め楽しい時間を一緒に過ごす。

場所

国営備北丘陵公園（みのりの里エリア）

内容

利用者・ご家族・職員一緒に集まってお弁当を食べ、面談をして親睦を深める。

経過・課題

当日は3連休の初日でもあり、かつ公園が無料開放の日ということもあって、大変な入場者がおられた。また、行く途中で自家用車で参加の数家族が道に迷われ、到着がかなり遅れた事での混乱もあり、入園後すぐに利用者3名の所在がつかめず、予定が大幅に狂ってしまった。3名とも無事に所在の確認が出来たが、最悪の結果も予測できる事態となり、計画の甘さを感じた。多人数での行事だけに次回は綿密な計画が必要であると思う。

5 職員会議

目的

- ・利用者のQOLを高めるため、個別処遇、日課、環境、各活動について課題を定義検討し、取り組みについての意識統一を図る。
- ・園長・事務長・支援部長・看護課・栄養課との意見交換、情報交換を行う。

内容

- 4月 支援体制について 日課の確認 ケースカンファレンス 環境について 私物の管理について
- 5月 日課について 個別について 人権について ケースカンファレンス 短期利用者の対応について
- 6月 テレビ、リモコンについて トイレ掃除について ケースカンファレンス 人権について
- 7月 環境整備について スヌーズレンについて ケースカンファレンス 水分補給について
- 8月 人権について ケースカンファレンス 水分補給について
- 9月 人権について 個別について ケースカンファレンス 居室のカーテンについて
- 11月 トイレトペーパーの使用状況について 日課について 人権について ケースカンファレンス
- 12月 ケースカンファレンス トイレトペーパーの使用状況について
- 1月 人権について ケースカンファレンス 利用者の履き物について
- 2月 塗り薬について 利用者の履き物について まとめ・提出書類について ケースカンファレンス
- 3月 提出書類について ケースカンファレンス 手指乾燥機について

経過、課題

- ・会議での発案によって、日課や利用者への支援、環境の改善に繋がった事項もあった。利用者へのサービス向上のため、他の部署との積極的な意見交換にも努めたい。
- ・支援を多く必要とする利用者について、毎回ケースカンファレンスを行うことで共通理解に努め、支援方法を考えた。
- ・早めに議案を提示し、それぞれの考えを持って会議に臨んで貰えるように努めたが、連絡事項だけに終わってしまう事項も多かった。来年度は積極的な意見交換が出来る場にしていきたい。

6 まとめ

12月に体調を崩される方が多くおられたが、全般的に体調良く、一年を通じてクラブ活動やグループ活動に参加して頂くことが出来た。クラブ活動の活動部署やグループ活動内容について、個々に適した配置や内容であるかを考慮し、配置や内容について再度見直しをしていきたい。

食事や入浴場面などでは、個別の対応や広い枠組みの中でゆっくり時間を使って頂けるように、早めの誘導や時間設定を行った。

環境面では、トイレを中心に生活棟内の掃除と臭いについての意識が高まり、清潔で快適な環境づくりを行った。また、環境面での整備や改善も行った。

利用者が落ち着いて安心して過ごして頂ける環境づくり、個々の対応方法について利用者の立場に立って考え、柔軟な対応、職員の関わり方について今後も日々考えて支援したい。

(香川直規、山下 誠、渡邊加代子、福永真也、岩戸洋三、高場修治、若床まゆみ、竹間和輝、相川敦美、中岡健太郎)

4 はなまるグループ

1 グループ目標

- ・利用者の個性や行動を理解し、自己選択、自己決定を尊重し、健康で豊かな生活を支援する。
- ・清潔で安心して生活して頂ける個別配慮された環境を提供する。

2 生活

1) 環境

目 標

- ・快適に過ごせる環境整備を行う。
- ・建物、建具の損傷、対応、補修、修繕を行う。

内 容

- ・担当利用者の居室の床、壁、窓、網戸の掃除用にチェック表を作成し活用した。
- ・居室以外の窓の拭き掃除は窓掃除表を作成し、遅出が午前に行った。
- ・はなまる生活棟とセンターのトイレ掃除の手順を作成し実践した。
- ・生活棟の廊下を科学モップで夜勤者が掃除する事を決め行った。
- ・センターにほうきとちり取り、モップを設置し間食後には掃除を行った。

まとめ

- ・居室や窓等はとても綺麗になった。
- ・職員の掃除に対する意識が高まった。
- ・今後センターの掃除と建物管理を充実させたい。
- ・生活棟の洗面所やトイレ、汚れが多い床の掃除方法を変えたい。

2) 衛生

目 的

- ・皮膚疾患の予防と対応
- ・健康維持

内 容

- ・入浴後も含め指示された軟膏塗布・消毒を確実にを行う。

- ・入浴の際、時間差を付け浴室脱衣場の混雑を分散させゆっくり入浴して頂きこれまで、全面的に支援していた利用者の方には、出来るところは自分で身体を洗ってもらうよう努めた。
- ・毎週日曜日に、爪切り・耳かき・血圧測定を実施した。
- ・個々の健康状態の把握に努め、看護との連携を深め、迅速な処置、必要な受診を速やかに実施できる体制作りを努めた。
- ・午前、午後のクラブ活動終了後、手洗いとうがいを徹底した。
- ・食事前の手洗い、手指消毒を徹底した。
- ・毎月1回体組成測定を行い、肥満防止、健康管理に努めた。
- ・歯磨き支援として、毎週日曜日午前6名ずつ、ひと月で24名全員の歯磨きが出来るように計画し実施した。

まとめ

- ・入浴後の軟膏塗布は定着していた。名簿を使用し確実に行った。
- ・入浴時間を分散したことで、今まで不十分だった入浴支援も視野が広がりゆっくりと身体観察ができるようになった。
- ・個別に塗り薬を用意し、保湿と予防に役立てたが、特に踵の荒れに効果があった。
- ・体調の悪い人には早めに対応し配慮できたが、自分から体調の不調を訴えることが難しい人に対しては日頃の様子観察から把握する。発見できない事例もあり、今以上に健康状態を把握し、方法を考えたい。
- ・手洗いとうがい、手指消毒を徹底して行ったことで、定着し体調を崩すケースは少なかった。
- ・毎週日曜日の爪切り・耳かき、血圧測定は衛生と健康状態の把握の1つになった。
- ・食事や睡眠時間に注意し、毎日の生活が精神的、肉体的に安定した状態で規則正しい生活を過ごして頂けるように努めたい。
- ・歯磨き支援で、虫歯の発見や予防、口内炎の発見、歯肉の状態の改善に努めた。
- ・口臭の改善が見られた。

3 グループ日課

目 的

- ・日課の流れを分かりやすく組み立て、利用者の皆さんが安心して生活できるようにする。
- ・クラブ活動以外の時間を有効に使うための内容を提供する。

内 容

- ・入浴時間の見直し...17時30分からグループ一斉に入浴をしていた取り組みを見直し、時間差で入浴をしていただけようにした。
- ・衣類整理の簡素化...洗濯を居室の廊下別で行い、衣類分別・整理をしやすい環境にした。
- ・クラブ活動前の体操...午前、午後の活動前に集ってもらい体操をした。
- ・ビデオ観覧...グループ代表の方に交代でビデオレンタルに出かけていただいた。事前に借りてみたいビデオを聞いておくことで、スムーズにレンタルする事ができた。
- ・カラオケ...歌わなくても聴いているだけの人もいるが、音楽の好きな方が多く定着している
- ・運動...毎月、土日の午後（行事、ビデオ、カラオケ以外の時間）に実施。

球技大会、体育祭に向けて練習。ウォーキングの実施。

- ・水分補給...洗面所にコップを置き随時、水分の補給が出来るようにした。

まとめ

- ・日課の流れについては、利用者の皆さんが落ち着いて生活できることを第一に、組み立てを考えた。その結果、利用者同士によるトラブルなどの原因が減少する事に繋がった。
- ・クラブ活動以外の時間については、自室で過ごされる利用者の方が多く、全ての利用者の方が楽しめる内容にはならなかった。メニューを増やし、利用者一人ひとりのニーズに応えられるような内容にする必要がある。
- ・水分補給に関しては、随時水分補給が可能になったが、水の飲み過ぎに注意が必要になった。

4 行事

1) レクリエーション

目 的

- ・季節に応じたレクリエーションの提供
- ・楽しんで頂ける内容になるよう計画をする。

内 容

- ・4月19日 花見
多目的棟で行う予定だったが強風の為プレイルームで会食しカラオケやボール遊びを行った。
- ・6月 6日 スーパードリームサーカス観覧
当日は湿度と気温が高かったが、落ち着いて観覧することができた。
- ・8月30日 納涼祭
風船釣りやミニボーリングを楽しまれ間食のかき氷とポテトチップスはとても喜ばれ職員と利用者または利用者間でも楽しい会話が多く夏の雰囲気を楽しまれた。
- ・9月13日 バスドライブ 鮎の里
車中では職員と会話をし目的地では水族館を見学され比和運動公園に移動し好みの 缶飲料を購入しドライブを楽しまれた。
- ・11月 3日 藤兼祭り
毎年参加しているため皆さん落ち着いて参加された。1名体調不良で不参加
- ・12月20日 忘年会
プレイルームで会食後、カラオケやクイズに参加され楽しまれお弁当も美味しそうに食べられた。
- ・1月17日 新年会
センターで会食後、積雪もあり雪だるまや凧揚げ駒回しと皆さんとても楽しまれ普段は参加されない方も凧揚げを楽しそうにされていた。
- ・3月21日 打ち上げ会(バスドライブ)
三次風土記の丘へお弁当を持って出かける。

まとめ

- ・皆さん楽しみにされている行事なので今後もそれぞれの意見を取り入れ職員と利用者さんの関係づくりと生活の励みに繋がるよう、内容を検討していきたい。

2) ビデオレンタル

目 的

- ・余暇の時間を利用し、ビデオを鑑賞する。

内 容

- ・前年度と同じ方に代表してレンタルへ行ってもらった。

まとめ

- ・皆さんビデオレンタルを楽しみにされていた。興味のない方には職員が助言を一緒に借りる作品を選んだりした。なるべく多くの方からリクエストを聞き、またメンバーも変更してたくさんの方に楽しんで頂けるようにしていきたい。

3) 宿泊旅行

目的

- ・学園とは違った環境で色々な事を体験し日々の生活の意欲に繋げる。
- ・社会性を身につける。
- ・利用者の希望に添った場所を計画する。

内容

月 日	参加人数	場所
6月15日～16日	4名	ビッグアーチ、広島市内(サッカー観戦)
7月24日～25日	4名	三瓶山、出雲市内
8月21日～22日	4名	島根海洋館アクアス
10月15日～16日	4名	耕三寺博物館
11月12日～13日	4名	西部リサイクルプラザ
12月10日～11日	4名	県民の浜、大和ミュージアム

まとめ

- ・食事を自炊するなどにより利用者さんにも喜ばれた。今後も反省点を活かし、思い出に残る楽しい時間を提供していきたい。

4) 外出

目的

- ・希望に添った外出を行い、落ちついた生活を送る。

内容

実施日	参加人数	場所
4月12日	3名	セブンイレブン、風土記の丘、喫茶すずらん
4月20日	3名	CCプラザ、マクドナルド、三次親水公園
5月12日	2名	ユニクロ、三次プラザ、マクドナルド
5月17日	3名	サングリーン、三次公園、ワイナリー
6月21日	2名	サングリーン、高谷山
7月4日	3名	アサヒ商事、ユニクロ、ダイソー
7月19日	3名	とみしの里、セブンイレブン
8月8日	2名	サングリーン、セブンイレブン
9月12日	3名	サングリーン
10月3日	2名	ゆめさくら(庄原市)
10月24日	3名	ユニクロ、CCプラザ、ダイソー
11月2日	3名	河内ふれ愛祭り
11月2日	2名	河内ふれ愛祭り
11月8日	3名	モグラ博物館

12月6日	3名	サングリーン
12月19日	3名	伍楽荘ボウル、セブンイレブン
1月23日	3名	ザ・ビッグ
2月13日	3名	サングリーン、マクドナルド、ダイソー
2月21日	3名	CCプラザ、ダイソー
3月6日	3名	サングリーン
3月20日	2名	サングリーン、ユーホー

まとめ

- ・皆さん楽しみにされてる時間でもあり落ちついて外出することが出来た。
- ・今後も希望に沿った外出を計画していきたい。

5) 親子レクリエーション

目的

- ・家族と利用者、職員の親睦を深め、楽しい時間を過ごす。

内容

- ・日時 平成20年10月11日10時20分～14時10分
- ・場所 平田観光農園
- ・センター大作業室でオリエンテーション後、マイクロバスと自家用車で現地に移動昼食後ぶどう狩りをし現地にて解散。

まとめ

- 19家族29名のご家族に来園頂き、開催する。
- ・自家用車、複数台での移動は少し不安だったが無事に移動出来た。現地では徒歩での移動距離が長くご家族に負担をかけた、現地で時間にゆとりがありゲームなどを考えておけば良かったと思う。みなさん楽しまれた様子だったが毎年大変楽しみにされている行事なのでより楽しんで頂ける内容を考えたいと思う。

5 はなまる会議

目的

- ・利用者の生活向上と充実したサービスの提供を目指し、環境・個別処遇・各活動についての課題を提起検討する。
- ・ケースカンファレンスを行い、支援についての意識統一と利用者に対する理解を深める。
- ・各部所との意見交換、情報交換、協議。

内容

- 4月...与薬について、日課について、人権について
- 5月...クラブ活動、事例検討、人権について
- 6月...衣類整理について、掃除について
- 7月...掃除について、入浴、食事の移動について、人権について
- 8月...親子レク、ケースカンファレンス
- 9月...倉庫の使用方法について、ケースカンファレンス、人権について
- 11月...AEDの使用方法について、歯磨きについて、人権について
- 12月...食事準備の流れについて、コップの使用について、人権について

1月...入浴時間について、クラブ活動について、ケースカンファレンス、人権について

2月...体操について、入浴時間について、ケースカンファレンス、人権について

3月...各係からのまとめ

まとめ

- ・会議前には、議題を提供し各自の考えをもって会議に臨むようにした。その他、迅速な対応を必要とする事柄に関しては、社内メール等を通じて協議し、速やかな対応を行った。
- ・課題が発生したときには随時各部署、職員間で協議をしてきた。今後も、人権と個性を尊重した健康で豊かな生活を提供していきたい。また、職員間の連携、資質向上に繋がるような意見交換の場となるようにもしていきたい。

(高田孝康、塚本博志、山地恵子、魚見敏満、岩岡直幸、掛川陽介、佐々木拓実、兼藤克則、長岡清美)

5 園内行事

- ・一年を通して季節を感じる行事を考え、全体行事として毎月学園内で計画実施した。
- ・学園内又は周辺的环境整備を計画実施した。

1 はな祭り

日時 平成20年 4月 8日 火曜日 14時00分～15時30分

場所 食堂

内容 利用者70名 職員 17名 係長：塚本 係：岩戸

花紙で花を作成し、花御堂に飾り付けた。利用者さん一人一人が甘茶を掛け、掛け終わった後に甘茶を頂く流れで、時間配分的には丁度良かった。職員の協力もあり、利用者さんは落ち着いて参加され時間通りに行う事ができた。

2 合同バスハイク

日時 平成20年 5月 2日 金曜日 13時30分～15時30分

場所 尾関山、トラックステーション

内容 利用者31名 職員10名 係長：掛川 係：有田・山下

2名の利用者さんが体調不良で不参加。全体的に落ち着いてバスハイクを楽しんでいた。天候が心配だったが、雨が降る事もなく予定通り行う事が出来た。

3 母の日感謝祭

日時 平成20年 5月11日 日曜日 14時00分～15時20分

場所 食堂

内容 利用者70名 短期入所者1名 職員14名 係長：荒瀬 係：高場・佐々木

各テーブルに造花を用意でき華やかな催しになった。利用者さん全員にインタビューをした。インタビューしていく中、長時間座ってもらうことが苦手な利用者さんもおられ、大声を出したり、トイレに立ち歩く方もあったが多数の人は座っておられ開始と終了はほぼ時間通りに進んだ。

4 草刈り(1回目)

日時 平成20年 6月 6日 金曜日 8時00分～11時30分

場所 県道39号線 水路沿い山側約2m範囲と水源井戸周辺

内容 職員 6 名 係：宮崎

草刈りは水路沿い、FOX 周辺、水源井戸周辺と移動し草刈り後に使用した物品を各自で片づけて終了した。草集めは水路沿い、FOX 周辺までとし使用した物品を各自で片づけて終了とした。

5 父の日感謝祭

日時 平成 20 年 6 月 15 日 日曜日 14 時 00 分～15 時 20 分

場所 食堂

内容 利用者 62 名 短期入所者 1 名 職員 14 名 係長：山地 係：岩戸・桑田

父の顔の福笑いとお紙芝居を行いゆっくりと余裕を持ち進む事が出来た。福笑いに関しては楽しんでいただいたが紙芝居の方では、内容がわからず時間を持てあます利用者さんが多かった。

6 七夕祭り

日時 平成 20 年 7 月 7 日 月曜日 14 時 00 分～15 時 30 分

場所 食堂

内容 利用者 68 名、短期入所者 1 名 職員 15 名 係長：堂西 係：竹間・兼藤

七夕の由来の話と、各グループで書いてもらった短冊の中から代表で 7 月生まれの方の願い事を紹介し、職員は 4 月異動の職員 3 名の短冊を紹介した。七夕飾りを前に全員で七夕の歌を合唱した。

7 還暦祝賀会

日時 平成 20 年 7 月 27 日 日曜日 10 時 30 分～

場所 療育センタープレイルーム

内容 利用者 70 名 来賓 1 職員 16 名 係長：若床 係：野曾原・長岡

対象者 1 名。お祝いの言葉、お祝いメッセージ代読、祝い着着用、お母様からのお祝いの言葉スライドショー、記念品贈呈、鏡割り、謝辞、乾杯。

8 物故者追悼式

日時 平成 20 年 8 月 8 日 金曜日 10 時 30 分～11 時 00 分

場所 療育センタープレイルーム

内容 利用者 70 名 職員 17 名 係長：桑田 係：渡邊・塚本

物故者紹介、黙祷、追悼の言葉、メッセージ代読、献花、参列者全員での歌、閉会。閉会后、参列者全員に飲み物を配った。

9 大掃除ワックス掛け

日時 平成 20 年 8 月 11 日 月曜日 9 時 30 分～

場所 ともえ学園・療育センター

内容 職員 29 名 係長：魚見 係：中田・中岡

掃除範囲を今回は広げて実施。ワックス掛けの居室を増やす、排煙窓の清掃、中庭のポリッシャーによる研磨作業、センター廊下は剥離剤を使用した。

10 全体活動

日時 平成 20 年 8 月 11 日 月曜日 9 時 10 分～15 時 30 分

場所 療育センター プレイルーム

内容 参加利用者 32 名、短期入所者 1 名、職員 3 名

生活場所の大掃除ワックス掛けが終了するまで、療育センタープレイルームでカラオケやボ

ーリング、キャッチボールをして過ごしてもらった。生活棟へ帰る時間が前回より遅く、間食後は落ち着かない人が数名おられた。

1.1 合同バスハイク

日時 平成20年 8月13日 水曜日 13時50分～15時50分

場所 川の駅、常清滝

内容 参加利用者27名 職員10名 係長：相川 係：渡邊・佐々木

川の駅で休憩、常清滝の途中の休憩所まで歩いて行き、間食を摂った。人が多かったが、事故や大きなパニックもなく過ごせたので良かった。

1.2 体育祭

日時 平成20年 9月20日 土曜日 10時30分～14時40分

場所 グランド

内容 参加利用者69名 53家族91名 職員31名 実習生1名

係長：山下 係：荒瀬・掛川

天候は少し風が吹いていたが、雨が降る事もなく、汗ばむ陽気であった。予定通り始める事ができ、怪我をされる事無く予定通り終わる事ができた。

1.3 草刈り(2回目)

日時 平成20年 10月18日 土曜日 9時00分～12時00分

場所 県道39号線 水路沿い山側約1m範囲・FOX周辺・神野瀬川水源井戸周辺

内容 職員6名 係：宮崎

準備は前日、軽トラックに乗せていた為、当日はすぐに移動できた。気候良く人数も揃っていたので予定時間通り実施出来た。

1.4 収穫祭

日時 平成20年10月10日 金曜日 14時30分～15時30分

場所 サツマイモ畑・外宮周辺

内容 利用者70名 短期入所者1名 職員18名 係長：山地 係：中田・福永

午前レインボーG、トライアングルG、午後はなまるGの芋掘りを実施。その後収穫祭を開始。今回外宮が設置され、御神酒、お米、果物、サツマイモ、椎茸、花の苗、缶飲料などをお供えした。榊を奉納、各グループ事に二礼二泊一礼を行い、神聖な中に神事が出来た。会終了後、御神酒を参加者全員で頂いた。

1.5 無人販売所の塗装

日時 平成20年10月25日 土曜日 11時～12時(準備) 13時～17時(塗装)

場所 FOX

内容 職員3名 係長：山下 係：塚本・渡邊

無人販売所内の床へ置いて有る物を棚へ移動。手すりへ設置してある柵、看板などを外した。室内を掃き掃除、手すりをから拭きし、コケを落とした。室内の床、壁、デッキ、階段、手すり、壁の一部を塗装し終えた。

1.6 勤労感謝祭

日時 平成20年11月23日 日曜日 10時00分～11時00分

場所 食堂

内容 利用者70名 短期入所者1名 職員12名 係長：長岡 係：木村・高場

勤労感謝の日の由来についての話しと、職員が書いた利用者さん全員へのメッセージカードを読む。会終了後には収穫祭で収穫したサツマイモをフライドポテトとして頂いた。

17クリスマス会

日時 平成20年12月25日 木曜日 14時00分～15時10分

場所 食堂

内容 利用者67名 職員16名 親の会会長 係長：兼頭 係：堂西・若床

クリスマスの由来を紙芝居風にして説明した。BGMを流し、曲に乗ってトナカイ（職員）とサンタクロース（親の会会長）登場。サンタへのインタビュー後、トナカイに先導され、レインボーG、トライアングルG、はなまるGの順でプレゼントを一人一人に手渡してもらった。終わりには全員でクリスマスの歌を合唱し、楽しい雰囲気の中で終了した。

18大掃除、ワックス掛け

日時 平成20年12月30日 火曜日 9時30分～

場所 ともえ学園

内容 職員31名 係長：魚見 係：中田・中岡

夏期と比べワックス掛けの面積を生活棟だけにしたため作業時間の大幅な短縮が出来た。今回初めて使用したワックス用のモップはワックスの伸びも良く非常に使いやすいと好評だった。モップはマジックテープで脱着でき交換が容易であった。厨房ではティルティングパンを搬出して手の届かない場所も掃除できた。

19全体活動

日時 平成20年12月30日 火曜日 9時10分～15時30分

場所 療育センタープレイルーム

内容 利用者33名 職員4名

プレイルームにてカラオケやボーリング、キャッチボールをして楽しむ。皆さん、ひどく興奮する事や、トラブルも特にはなかったが、センターに居る時間が長く、遅くには落ち着かなくなつた方もおられた。

20平成20年職員納会

日時 平成20年12月30日 火曜日 17時20分～17時30分

場所 ともえ学園 会議室

内容 職員27名 係：事務長

この一年の仕事について相互に感謝と慰労と新年の健康を祈念。年末にあたり1年間の各部署総括と年末慰労挨拶が行われ三本締めで最後を締めた。

21合同初詣（定期外泊期間中の在園者を対象）4名が不参加

日時 平成21年1月3日土曜日 13時50分～15時50分

場所 天津神社

内容 利用者29名 職員9名 係長：岩戸 係：有田・兼藤

天候は良く、ほぼ予定通りに実施する事が出来た。神社でお参りし全員で写真撮影をした。体調不良で4名の方が不参加となったが、ともえ学園の外宮でお参りをしてもらった。

22年賀式

日時 平成21年1月6日（火） 午前10時00分～11時00分

場所 食堂

内容 利用者68名 職員16名 係長：野曾原 係：相川・岩岡

干支にあたる利用者の紹介・代表者挨拶、鏡開き、御神酒で乾杯、くす玉の演出、参加者全員での「歳の始め」を合唱し盛り上がった。終了後、お祝いの紅白まんじゅうと缶の飲み物が配られた。

2.3 餅つき

日時 平成21年 1月18日 土曜日 10時00分～11時20分

場所 プレイルーム

内容 中国電力青年部3名 参加利用者71名 職員16名 係長：木村 係：塚本・中岡

中電青年部の方の自己紹介に始まり、歳男の方と当日誕生者の餅つき、事前に各グループ希望者を聞き、希望者の餅つきを行った。当初の計画では、餅つき後にとんどに点火としていたが、とんどを延期にしたので、時間に余裕ができ他の希望者にも餅つきをしてもらった。中国電力の方の昼食はセンター和室で、お餅を準備し提供した。お餅は午後の間食でぜんざいとして配られた。

2.4 とんど

日時 平成21年 1月22日 土曜日 14時00分～15時00分

場所 日勤駐車場方面空き地・大作業室

内容 利用者70名 職員13名 係長：木村 係：塚本・中岡

午前中にとんどを組立て午後から開始した。歳男の5名の方が点火、書き初めをとんどで燃やし、とんどのおきで、お餅が焼かれた。午後の間食にお餅（砂糖醤油）と御神酒が参加者に配られ一年間の無病息災を願った。

2.5 節分祭

日時 平成21年 2月 3日 火曜日 14時00分～15時00分

場所 食堂

内容 利用者69名 職員17名 係長：掛川 係：有田・竹間

職員が鬼と福の神の着ぐるみを着用し登場した。ボールを鬼のピンにぶつけるゲームがあり、ほとんどの方が参加され、一年の無病息災を願う事が出来た。終了後には缶飲料と豆が配られた。

2.6 慰問：「セーリング」LIVE

日時 平成21年 2月18日 水曜日 14時 5分～14時45分

場所 療育センターセンタープレイルーム

内容 利用者70名 職員24名 見学者1名 係：宮崎

14時には参加者全員会場に移動でき、進行係によりスタンバイまでの時間を手拍子等で盛り上げてもらった。ロックバンドによる約40分のライブは利用者の皆さんに楽しんでいただく事ができた。

2.7 ひな祭り

日時 平成21年 3月 3日 火曜日 14時00分～14時50分

場所 食堂

内容 参加利用者70名 職員15名 係長：桑田 係：中岡・佐々木

雛壇を飾り、女性利用者4名の方には着物着用で、雰囲気も変わりよかった。混乱もなく皆さん落ち着いて参加されていた。×クイズゲームでひな祭りにちなんだクイズ内容で最後に白酒が参加者全員に配られ乾杯した。利用者さんには雛饅頭と缶飲料が配られ、無事ひな祭

りを祝い終了した。

(宮崎静美)

6 対外行事

他施設や地域の人々との交流と親睦を深めると共に地域社会の理解を深める事を目的に実施。

1 西部ブロック親善球技大会

日 時 平成20年5月25日(日) 9時50分～15時20分

場 所 広島県立広島中央特別支援学校

参加状況 利用者 22名 支援職員 9名

利用者 ゲート通し (団体) トライアングル 3名

ゲート通し (団体) はなまる 3名

卓 球 (個人) はなまる 3名

円形ドッジ はなまる 7名

トライアングル 4名

フライングディスク はなまる 2名

職員 実行委員 1名 審判員 1名

支援職員 フライングディスク 2名

ゲート通し 2名

円形ドッジ 2名

卓球 1名

結 果

会場の決められた休憩場所は、影が少なく、蒸し暑くて過ごしにくい天候だったが、怪我も無く無事終わる事ができた。

2 ひろしま障害者フライングディスク競技大会

日 時 平成20年8月24日(日) 8時45分～16時00分

場 所 みよし運動公園内MIYOSHI DOME

参加状況 利用者 3名 支援職員 2名

・アキュラシー7m(一定の距離に置いた輪に10投し、通過した枚数を競う)

40代、30代、20代(男・立位)各1名参加

・ディスタンス(ディスクを連続して3投し、遠くへ飛んだ距離を競う。)

40代、30代、20代(男・立位)各1名参加

結果 アキュラシー7m 40代 2位、30代 1位

屋根付きのドーム内で開催されたこともあり、暑さを感じることもほとんどなく過ごしやすい中で競技に参加することが出来た。アキュラシー競技については、親善球技大会でも行っているため、要領よく出来ていたが、ディスタンス競技については、力のいれ具合など練習が必要と感じた。

(宮崎静美)

7 外泊

1 定例外泊

4月29日(火) ~ 5月5日(月)	ゴールデンウィーク	44名
8月10日(日) ~ 8月17日(日)	お盆	43名
12月29日(月) ~ 1月5日(月)	お正月	46名
3月30日(月) ~ 4月6日(月)	春	32名

それぞれ約1週間の外泊で、日付は固定とし、広島、福山、呉、大竹方面への送迎を実施した。
定例外泊以外にも、随時、ご家族の希望により外泊を実施している。

(宮崎静美)

8 医療

具体的重点事項

- 1 健康管理、検査の徹底
- 2 疾病の早期発見と早期治療につとめる
- 3 歯の健康、治療の徹底
- 4 感染症対策を充実する
- 5 リハビリテーションの普及

1 健康管理、検査の徹底

今年度も生活習慣病予防として他の医療機関と連携をとり、また、ともえ学園内での健康診断を利用者・職員全員実施した。健診後は正常範囲からはずれ再検査などの指示がある場合、各個人でプライバシーを厳守しながら健康管理をおこなった。

2 疾病の早期発見と早期治療につとめる

観察を重点に体力減退や運動機能の可動域が著しく低下しているなどの早期発見にも、努力し、受診・検査指示受け・投薬・装具(機能靴・歩行補助杖・活動着)・歩行訓練・機能回復訓練(四肢など強化目的)などを行った。

肝臓病など特定の疾患をもっておられるかたに対しては、採血後の指示を早急にとりCTなどの手配を迅速に行い健康管理の現状維持(悪化させない看護)に努めた。

3 歯の健康、治療の徹底

毎月4回の受診は予約をとりながら行った。根管治療など長期に治療を要する場合は治療方針の指示に従い、予約者の順序を決定し効率のよい治療ができるよう努めた。

4 感染症対策を充実する

12月に入りノロウイルスが発症、個室管理・ディスポの食器・入浴制限など配慮した。確定診断がだされた時点ですみやかに保健所への報告・指示を仰ぎ、学園内も午前・午後の2回時間をきめての周知を徹底した。

インフルエンザの発症も確定診断者2名はノロウイルスと同じく処置をとった。インフルエンザ・ワクチンの摂取を行っていたので最小限の症状で大事にはいかなかった。

この時期に感冒のかたも多く高熱者に対しては個室管理とし疑陽性扱いの処置をとった
早めの受診・投薬・点滴などで長期間の安静臥床はなかった。

看護では感染症対策で2回の研修の期間をいただいた。1回目は感染症対策の基礎と実証例を2

回目は結核感染症対策について学び、要約し周知することが出来た。

5 リハビリテーションの普及（対象は身体に麻痺がある）

転倒防止・歩行訓練の指導を日常生活に普及する勤務医師の指導のもとで実施した。

医務室では勤務医とコンタクトをとり、充実のある健康管理ができるよう診察や情報を重点に話しやすい環境・診察や看護への信頼がよりいっそう実るよう努力したい。

（瀬川澄恵）

9 栄養食生活

1 はじめに

衛生管理に留意しながら利用者の嗜好の尊重、旬の食材の利用や暦の行事食の取り入れによる季節感のあるメニューの提供、また多彩な強化磁気食器を使用し、個々に応じた細やかな配慮のある食事作りに努めた。

2 栄養量

生活活動強度は「やや低い」を用い、目標量と実質摂取量は次の表のとおりであった。

	目標量	実質摂取量
エネルギー（kcal）	2,250	2,281
たんぱく質（g）	69.0	74.8
脂質（g）	56.9	66.8
カルシウム（mg）	600	624
鉄（mg）	7.5	10.6
ビタミンA（IU）	2,500	2,495
ビタミンB1（mg）	1.23	2.92
ビタミンB2（mg）	1.37	1.22
ビタミンC（mg）	100	121

3 食事形態

常食・刻み食・粥食・ミキサー食・低脂肪食・糖尿病食・エネルギー制限食・低蛋白塩分制限食を利用者に応じて提供した。

4 希望メニュー

利用者の個々の嗜好を取り入れるため、誕生日に利用者の希望のメニューを提供した。

4月：「とんかつカレーラーメン・コーヒーゼリー」「煮込みハンバーグ」「親子丼」

「鶏足・コーヒーゼリー」「カレーライス」「まぐろ丼」

5月：「ラーメン」「カレーピラフ」「焼き肉」

6月：「散らし寿司」「ラーメン」「カツカレー」「カツカレー・コーヒーゼリー」

7月：「鶏肉空揚げ」「カレーライス」「ちゃんぽん麺」「クリームシチュー」「鶏肉空揚げ」「ハンバーグ」

8月：「かつカレー」「チャーシュー麺」「焼飯」「冷しゃぶ」「とんかつ」「焼き肉丼」「カレー味の豚肉丼」「チャンポン麺」「ハンバーグカレー」

9月：「かつ丼」「チャーハン」「ぶりの照り焼き」「かつカレー」「マーボー豆腐」

10月：「ラーメン」「かつ丼」「豚肉の生姜焼き丼」「かつカレー」

- 11月：「ハンバーグ・プリン」「海老フライカレー」「牛丼」「かつ丼」「とんかつ」
「ポークカレー」「ハンバーグカレー」「チャーハン・コンソメスープ」「ハンバーグ」
「かつカレー」「チャンポン麺」「ラーメン・コーヒーゼリー」「かつカレー」
- 12月：「ラーメン」「焼きそば」「かつ丼」「天ぷら・コーヒーゼリー」
- 1月：「かつ丼」「カレーラーメン」「とんかつ味噌ラーメン」「ラーメン」「とんかつ」
「ハンバーグ」
- 2月：「牛丼」「かつカレー」「チキンかつ・プリン」「鶏肉照り焼き」「かつカレー」
「冬野菜カレー」「うな丼」「ハンバーグ」
- 3月：「かつカレー」「キムチラーメン」

5 間食

間食は、全グループ統一して提供した。

午前：コーヒー 午後：菓子

6 正月料理

毎年三が日は朝食の雑煮、そしてお節料理を提供し、今年度も実施した。

今年度も「鍋料理」を提供し、鍋を囲みながら普段とは違った形式で、穏やかな雰囲気の中でゆっくりと食べて頂くことが出来た。

(後田喜代子)

10 事務

1 目標

外来者に対して常に明るく笑顔で接し、適切且つ迅速な対応に心がける。

電話受付では明確な対応に心がけ、速やかに関係部署に報告する。

緊急な事柄は速やかに口頭あるいは電話で報告する。

その他パソコンのサイボウズを利用して全員あるいは関連部署に配信する。

事務の正確かつ迅速な処理を行い、学園内外の連絡調整を徹底する。特にメールの送受信が可能な組織にはインターネットを利用し、迅速な処理を行う。

2 内容

事務

- ・ 支援費の請求、窓口での受付、入退所の手続き、利用者療育手帳・保険証・重度障害者医療受給者証の管理、自立支援医療受給者証の管理、福祉サービス受給者証の管理、各種印刷物の作成、各福祉事務所・行政機関との連絡調整、その他

庶務

- ・ 文書收受・発送、福利厚生、利用者預金管理、コピー機・コードレスホンの管理、その他

経理

- ・ 財務会計処理、利用料等の請求、親の会会計、親睦会の会計、物品購入、職員給与計算、調査統計、出張命令稟議書の作成、その他

3 まとめ

上記の業務については社会福祉法人ともえ会の諸規則、ともえ学園内規を基本として日々行ってきた。これからも原理原則を基本に、職員、利用者に信頼され、厳正でかつ平等に日々遅滞なく確実に

遂行していきたい。

(古栗 慎、摺 智美、藤川真由美)

1 1 午前日課活動

1 目的

- ・個々に合った活動を取り入れることにより張りのある生活へ繋げる。
- ・達成感や楽しみを感じてもらえるように活動の内容を工夫する。
- ・クラブ活動を通じて、健康管理及び体力維持を図る。

2 内容

リサイクルクラブ 10名

- ・アルミの空き缶を潰し、量がまとまると業者へ売却(月1回程度売却)

...集合場所：センター小作業室

きのこクラブ 20名

- ・しいたけ栽培～ホダ木の伏せ込み、水槽浸け・ホダ場の整理

...集合場所：センタープレイルーム

フラワークラブ 4名

- ・しいたけの植菌・椎茸採取・花の苗栽培

...集合場所：センター小作業室

野菜クラブ 15名

- ・山林、学園周辺の管理・畑作り(土作り)

...集合場所：センター大作業室

クリーンクラブ 7名

- ・掃除～生活棟、管理棟と療育センターの掃除
- ・衣類たたみ～洗濯済み衣類をたたんで仕分ける

- ・軍手洗い～活動後の洗濯済みを手を干す。軍手を洗い ...集合場所：センター小作業室

いきいきクラブ 13名

- ・学園周辺を個々に応じたウォーキング

...集合場所：レインボー生活棟

3 まとめ

クラブ活動としての取り組みを始めて3年目になり、利用者の方も活動内容の把握もでき、スムーズな行動ができるようになった。配属を検討し随時変更した。

リサイクルクラブの成果として、アルミ価格の変動は有ったものの高収入を得た。空き缶の確保など課題があるが、今後も継続して続けたい取り組みになっている。

職員も各クラブに参加出来る様な配置を試み、充分とは行かないが各クラブの活動の理解を得た。

屋外での活動の他に、悪天候時に行う室内での活動も計画に上げ、きのこクラブ・野菜クラブ・いきいきクラブには参加してもらった。

(山地恵子、塚本博志、掛川陽介、山下 誠、中田和弥)

1 2 入浴洗濯係

1 取り組み

- ・利用者が安心して使用できる浴室の環境整備や洗濯室全般の管理を行った。

2 内容

- ・毎月グループ会議のない土曜日の午後、各グループより1名の参加で浴室内の清掃を行った。
- ・毎週日曜日の午前、早出職員が洗濯物置みの後、洗濯室内の清掃を行った。
- ・入浴支援担当表を作成し、勤務変更があった場合は随時変更を行った。
- ・洗濯室に鍵付き戸棚を設置し洗剤、漂白剤、ソフランシート等を保管した。
- ・看護師はトライアングル・レインボー・はなまるの順番でグループの薬付けに入った。
- ・各グループの利用者個人の入浴時間を調整する事で、利用者間のトラブルを減らし、全体的に余裕のある入浴環境の提供に努めた。また、入浴人数の分散により利用者さんにはゆっくり入浴していただき、職員は丁寧な支援、危険防止、薬付けの徹底を行う事を目指した。

3 課題

- ・毎日の掃除では行き届かない所を月1回3名の職員で行うが、時間も少なく浴室のタイルなど掃除が不十分な所が残った。また、どの部分の掃除をするか事前に決めて、月々の記録用紙を作ると良いと思った。
- ・女子の浴室の換気扇など掃除が不十分だった為女性の浴室掃除について検討が必要である。
(渡邊加代子、荒瀬好司、佐々木拓実)

1 3 寝具

1 内容

- ・毎週火曜日までに寝具の発注用紙を記入。
- ・火曜日に寝具の搬入があり、その後リネンの係りが在庫の確認を行い調整をする。
- ・各グループへの在庫枚数の確認をし、リネン庫入口より左の棚に置く。
在庫を確実にする為に在庫は最低限にする。リネン台帳を作りリネン室に置く。
- ・布団やシーツを汚した利用者についてはリネン台帳に名前を記入し、シーツを持ち出す。
- ・不潔リネン室に、業者より麻袋を置いてもらい土曜日に麻袋にて回収してもらう。
- ・血液・便の付着した掛・敷布団・毛布は洗わずに小さく丸めて1枚ずつナイロン袋に入れて出し、回収してもらう。便の付いた物については便が付いていることを紙に書き、業者に分かるようにナイロン袋に入れておく。
- ・7月に掛け布団から毛布に変更。
- ・10月に毛布から掛け布団に変更。

2 反省

- ・在庫確認やリネン庫の整理、洗濯後のシーツの片付けは出来ていたが、布団を汚した利用者の名前が分からないことがあった。

(若床まゆみ、桑田樹実、長岡清美)

1 4 営繕

1 目的

- ・生活の場としての快適空間の実現、改善を目指す。
- ・不良箇所早期復旧作業を実現する。

2 内容

- ・不良、破損箇所について、可能なところは出来るだけ自分たちで修繕に努めた。

3 補修箇所

各居室、廊下の壁の補修

食堂柱コーナーへのモールの貼り付け

鍵穴へのグリスアップ

ドアの塗装はがれ箇所へ塗料塗布

カーテンレールの交換・カーテン、タッセルの補修、作成依頼

電球交換

その他、大きな改修については、業者に委託した。

4 まとめ

- ・徐々に破損箇所が増え、修繕痕が目立つようになってきた。壁の破損は壁材を埋めかえた。
- ・係として、不良、破損チェックが不十分で復旧が速やかに出来なかったことが反省点である。

(山下 誠、有田貴之、岩岡直幸)

1 5 親の会係

1 概要

- ・ともえ学園入所者の保護者で組織されたものが「ともえ親の会」であり、事務局は親の会係として職員が担当しており、以下親の会の活動を紹介する。

2 事業

1) 定例総会の開催

平成20年5月18日(日) 於：ともえ学園療育センター 46家族、62名参加

平成21年3月7日(土) 於：ともえ学園療育センター 46家族、65名参加

2) 役員会の開催

1回目 平成20年5月18日(日) 於：ともえ学園療育センター
11名出席(高場含む)

2回目 平成20年6月22日(日) 於：ともえ学園療育センター
14名出席(事務長・高場含む)

3回目 平成20年7月20日(日) 於：ともえ学園療育センター
14名出席(事務長・高場含む)

4回目 平成20年9月20日(土) 於：ともえ学園療育センター
10名出席

5回目 平成20年11月23日(日) 於：ともえ学園療育センター
13名出席(高場含む)

6回目 平成21年3月7日(土) 於：ともえ学園療育センター
13名出席(園長・高場含む)

3) 福利厚生...香典、弔慰金、生花、傷病見舞金、餞別の贈呈。

4) A I U損害賠償保険への加入継続。損害賠償金の支払い。

5) 入院時の付添看護料の贈呈。

6) 親善球技大会の見学、応援 平成20年5月25日(日)

於：広島県立広島中央特別支援学校

- 7) 美化研修会の開催...平成20年6月22日(日)於:ともえ学園療育センター
「健康人の第一歩PART」三次市ま福祉事務所 すこやか保健室
健康づくりグループ 主任 高岡孝子氏
45家族61名参加
- 8) 美化茶話会の開催...平成20年11月23日(日)於:ともえ学園療育センター
「学園美化活動とグループ別茶話会、全体会」 45家族60名参加
- 9) 懇親会の開催...平成21年3月7日(土)於:三次ロイヤルホテル
37家族、53名参加。学園職員28名参加
- 10) 例会の開催
平成20年7月20日(日)於:ともえ学園療育センター
52家族、76名参加
- 11) お楽しみ会の開催
平成20年7月20日(日)於:ともえ学園療育センター 52家族、76名参加
- 12) 河内ふれ愛祭り...平成20年11月2日(日)於:河内公民館
「リサイクルバザー」の実施。前日準備。
ご家族9名参加
- 13) 外泊の受け入れ、援助
平成20年 4月29日(火) ~ 平成20年 5月 5日(月)
平成20年 8月10日(日) ~ 平成20年 8月17日(日)
平成20年12月29日(月) ~ 平成21年 1月 5日(月)
平成21年 3月30日(月) ~ 平成21年 4月 6日(月)
- 14) 親子レクリエーションへの参加
レインボー 平成20年10月12日(土)16家族、26名参加
トライアングル 平成20年10月13日(日)16家族、29名参加
はなまる 平成20年10月14日(月)19家族、29名参加

3 感想・今後の課題

細かいところではお楽しみ会等で、物品の不足や不手際もあったが、美化作業等は天候にも恵まれ、予定通りに行う事ができた。

各行事の際、毎回混雑する受付について、今年度から資料・名札をセットでクリップ留めする事、送迎バス利用者には車内での配布等行った結果、混雑の緩和、スムーズな受付ができた。

残念ながら、今年度早々に係りの職員1名が負傷し、しばらく行事に参加する事ができなかったが、臨時の職員の協力もあり無事に1年間終える事ができた。

(高場修治、堂西美保、岩岡直幸)

16 食生活

1 目的

- ・食堂の環境整備、清掃、備品の管理をおこない、毎日の食事を美味しく気持ち良く摂っていただけの快適な空間を提供する。

2 内容

- ・状況に応じ席の配置の見直しや、コップ、スプーンを置く人、パンを焼く人の変更を全職員にサイボウズを使用し周知した。
- ・毎週日曜日に各部署より1名ずつ集まり、汚れている箇所を清掃した。また、チェック表を作成しその確認をした。
- ・毎週エプロンの洗濯を行った。
- ・食堂入り口での手指消毒の徹底を行った。
- ・手指消毒用タケックスクリーンやウエス、新聞紙の補充を行った。
- ・「のれん」を新しくしたり、ラジオのBGMを食事時間に使用することで、楽しく食事ができるよう環境作りに努めた。
- ・ペーパーナプキンを使用し食後の身だしなみを整えることが定着してきた。
- ・誰の席であるか、スプーン、コップを置く人、パンを焼く人を誰が見てもすぐにわかるようにテーブルにネームシールをはった。
- ・6月に新しいポップアップトースターを4台購入した。
- ・11月に配膳用ワゴンを1台購入した。
- ・1月に食事準備の見直しを行った。役割を明確にし、徹底することにした。

3 課題とまとめ

- ・床の汚れが目立つので、日曜日の掃除の時に床の掃除も行うようにすれば良いと思う。また、汚れていたらすぐにきれいにできるような環境を整備をし、意識も向上させなければいけない。
- ・食事準備の手順の変更により役割がはっきりしてスムーズに準備できるようになった。また、ワゴンの購入により配膳が楽になった。
- ・利用者の方が1番楽しみにしている時間だけに、もっと楽しく食事できるような環境作りに努めたい。

(中田和弥、竹間和輝、魚見敏満)

17 実習

1 受け入れ状況

学 校 名	人 数	期 間
佛教大学社会福祉学部	1	平成20年 9月 6日～10月 3日
国際医療福祉総合学院	1	平成20年10月14日～10月25日

2 まとめ

事前にオリエンテーションを行い、利用者の特徴、障害特性を説明し、施設見学を行ってもらった。自閉症について説明してあるビデオを貸し出し事前学習をしてもらい、実習に参加してもらった。配属部署については、オリエンテーションを行った上で判断し決定した。

3 今後の課題

実習生に対してアドバイスなどしやすいよう、実習生と現場の担当職員とのコミュニケーションが
しっかり取れるような時間を設定する必要がある。

(塚本博志、木村美代子、相川敦美)

18 ともえ通信

1 概要

- ・ともえ通信の編集発行と、平成20年度の事業報告書の編集発行。
- ・ともえ通信は毎月1日に94部印刷。ご家族、理事、評議員に配布し、同時にホームページに
掲載。

2 毎月の記事

5月1日発行	第241号	4月の様子 はなまつり	各グループの出来事 5月の予定	一品メニュー 新任職員自己紹介	編集後記
6月1日発行	第242号	5月の様子 母の日感謝祭	各グループの出来事 親善球技大会	一品メニュー 新年度クラブ活動	編集後記
7月1日発行	第243号	6月の様子 父の日感謝祭	各グループの出来事 7月の予定	一品メニュー 編集後記	
8月1日発行	第244号	7月の様子 七夕祭り	各グループの出来事 還暦祝賀会	一品メニュー 8月の予定	編集後記
9月1日発行	第245号	8月の様子 物故者追悼式	各グループの出来事 9月の予定	一品メニュー 編集後記	
10月1日発行	第246号	9月の様子 体育祭	各グループの出来事 10月の予定	一品メニュー 編集後記	
11月1日発行	第247号	10月の様子 収穫祭	各グループの出来事 11月の予定	一品メニュー 人事異動	編集後記
12月1日発行	第248号	11月の様子 勤労感謝祭	各グループの出来事 12月の予定	一品メニュー 新任職員自己紹介	人事異動 編集後記
1月1日発行	第249号	12月の様子 クリスマス会	各グループの出来事 1月の予定	一品メニュー 編集後記	
2月1日発行	第250号	1月の様子 年賀式	各グループの出来事 餅つき・とんど	一品メニュー 「セーリング」来園の案内	編集後記
3月1日発行	第251号	2月の様子 節分祭	各グループの出来事 「セーリング」公演	一品メニュー 3月の予定	編集後記
4月1日発行	第252号	3月の様子 ひな祭り	各グループの出来事 4月の予定	一品メニュー 人事異動	編集後記

(渡邊 武、竹間和輝、掛川陽介)

19 研修

1 職員研修会

- ・ 4月26日(土) 18:10~20:00 センター大作業室 参加者 17名
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「各グループの処遇困難事例について」
(各グループから処遇困難事例を提出してもらう)
- ・ 5月31日(土) 18:10~20:00 センター大作業室 参加者 21名
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「各グループの処遇困難事例について」
(各グループから処遇困難事例を提出してもらう)
- ・ 7月19日(土) 18:10~20:00 センター大作業室 参加者 17名
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ「今までの処遇困難事例についての質疑応答及びアドバイス」
- ・ 9月13日(土) 18:10~19:10 職員室 参加者 20名
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「事例検討についての意見交換」
(7月の研修より6名の事例研究を引き続いて検討)
- ・ 10月25日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 16名
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「事例検討についての意見交換」
(各グループの処遇困難事例についてのアドバイス)
- ・ 11月29日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 15名
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「事例検討についての意見交換」
(各グループの処遇困難事例についてのアドバイス)
- ・ 1月24日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 11名
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「事例検討についての意見交換」
(各グループの処遇困難事例についてのアドバイス)
- ・ 2月21日(土) 18:10~20:00 職員室 参加者 17名
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「事例検討についての意見交換」
(各グループの処遇困難事例についてのアドバイス)

2 新任職員のビデオによる研修

目的

- ・ 利用者に対する共通認識を持ち理解を深める
- ・ 自閉症の障害だけでなく、1人の人としてその尊厳を見つめることができるようになるために、自閉症の理解を深める

内容

- ・5名の新任職員を対象に「自閉症者の自己実現を目指して」と「自閉症の子どもたち～バリアフリーを目指して」の2本のビデオ、DVD見ての感想を提出してもらった。

3 結果・課題

- ・職員研修会では、船津守久氏に8回講義して頂いた。参加した職員で経験年数が浅い職員には他のグループの利用者のことも分かりました、とてもわかりやすく今後の支援の対象としても勉強になった。もっと事例に沿った内容で詳しく勉強したいと言う感想がほとんどだった。処遇困難事例についてのアドバイスはすぐに実践できる内容で、今後も参加したいという意見が多かった。
- ・課題としては参加したいが、時間的に遅くなる事や、遅出勤務者は途中からの参加となってしまう。全職員が同じように参加できるよう勤務の組み方を工夫していただきたいと思う。
- ・希望する研修でインフルエンザやノロウイルスの対処方法も勉強したいとの要望があった。

(野首原光裕、相川敦美、兼藤克則)

20 ボランティア

1 概要

今年度もボランティアグループみよしの皆様のご協力により、衣類補修、台拭き縫い、オシメ縫い、アイロン掛け、カーテン補修をして頂きました。

施設見学を行うようになって、ともえ学園がどのような施設で、どのような活動をされているのか大変よくわかりました。ありがとうございました。と言って頂く事が多くあった。

ミシン使う際に時間が掛かる事が多かったが、ミシンの基本的な使い方を学んだ事で問題が起きても対応できるようになり、より多くの作業をして頂く事ができた。

2 受け入れ状況

4月28日	川西地区	5名
6月23日	十日市地区	5名
7月28日	河内地区	7名
10月27日	田幸地区	4名
12月22日	清河地区	5名
1月27日	神杉地区	3名
2月23日	清河地区	5名
3月23日	酒屋地区	5名

(福永真也、堂西美保、魚見敏満)

21 エコロジー

1 理念

- ・省エネルギー、環境保全、地球温暖化防止そして業務省力化を目指し、啓発と取り組みを実施する。
- ・エゴからエコへ。

2 目標

- ・パソコン、プリンターの電源を切る

- ・ 不要な待機電力の削減
- ・ 冷蔵庫内の長期保管品を無くし、省エネに心がける。

3 内容

- ・ 会議室冷蔵庫へ長期保管を無くすように名前の記載をお願いし、早出職員が会議室掃除の時間にチェックをお願いした。

4 反省

- ・ 冷蔵庫の片付けが徹底できなかった。
- ・ プリンターの電源は切られていたが、パソコンの電源や、不要な電気の切り忘れが目についた。働きかけが不十分であった。

(山下 誠、桑田樹実、日坂悦子)

2.2 あいさつ運動

- 1 主旨：あいさつ...学園は人と人との集まりです。人と人々が明るく笑顔であいさつが出来るということは、とても大切なことです。笑顔であることによってお互いの心が和むと思います。笑顔であいさつすることによってその日一日がすがすがしい気持ちで仕事出来るような学園を目指します。

- 2 目標：「いつでも、どんなときでも、笑顔であいさつが出来る職場作りを目指しましょう。」

理念：「あいさつ」は、人間が社会生活を送る上の基本的なコミュニケーションの手段です。明るい職場、楽しい職場の活力として積極的に推進していきたい。

3 内容

- 1 職員間の挨拶を積極的に行う。

- ・ 昨年同様「お互い、いつでも、どんなときにも、笑顔で挨拶しましょう」として掲げてきた目標を今回も引き続いて行う。

- ・ お先に挨拶運動の継続を行う。

- ・ 司会者に朝礼の時と施設周りの時にタスキと腕章を付けてもらい、職員や各グループの利用者に率先して挨拶を行ってもらう。

準備物として、タスキ、腕章は、以前の物を使用する。後に新しい物を作成する予定です。

- ・ 毎月ごとの行事の多い日を選び、挨拶強化日とする。その日の朝礼で、挨拶運動の係員が朝の「おはようございます」からはじまり、勤務時間滞の「お疲れさまです」また、「お先に失礼します」等のあいさつを行うコメントを言う。

- ・ 職員室に「あいさつ運動」のポスターを貼る。

場所は職員室で、期間は毎月ごとに一枚、挨拶運動の係員が作成する。

職員室の掲示板に貼れる範囲のサイズで月毎に色を変える。

色マジックや絵の具や筆などを使い、月ごとにバリエーションを加えて作成する。

- 2 利用者の方とのコミュニケーションをはかる。

一日三回の司会者による学園訪問の時には笑顔で積極的に挨拶をする。

4 反省

- ・ 月ごとのポスターを貼ることにより、職員室に彩りの様なものが出来たと思う。また季節に応じた絵を描いたことも良かった。

- ・司会者が毎日タスキ、腕章をかけ、生活棟内の見学などをする時に自然とあいさつもあり、職員間と利用者に対してもあいさつが定着してきた。
- また、朝礼の時にタスキ、腕章をかける事によって一日のあいさつの意識付けになった。
- ・月に一回のあいさつ強化日は、事前に、サイポーズで承知しておいた方が良かったのではないかと思った。

(山縣圭子、福永真也、荒瀬好司、兼藤克則)

2 3 ゴミゼロ運動

1 目的

- ・施設内外を清潔に保ち職員全体で住みやすい環境を整えるため、住みよい環境を整えると共に、気持ちよく使って頂けるように全部署の職員で行う。

2 取り組み

- ・毎月第4土曜日の15:30から15分間を活動の時間とした。
- ・事前に場所と内容の周知をメールで行い、当日朝礼でお願いをした。
- ・各グループから1名、事務所・厨房・看護から1名、ゴミゼロ運動係1名の5名で清掃を行った。

3 掃除箇所

- 4月26日 各部署より5名の参加。大作業室床清掃活動
- 5月24日 各部署より5名の参加。ゴミ倉庫床洗い清掃活動
- 6月28日 各部署より5名の参加。玄関周辺清掃活動
- 7月26日 各部署より5名の参加。洗濯室裏中庭清掃活動
- 8月23日 各部署より4名の参加。食堂窓外側清掃活動
- 9月27日 各部署より5名の参加。洗濯室清掃活動
- 10月25日 各部署より5名の参加。利用者玄関清掃活動
- 11月22日 各部署より5名の参加。ゴミ倉庫床、棚、清掃活動
- 12月20日 各部署より5名の参加。女性用職員更衣室清掃活動
- 1月24日 各部署より5名の参加。男性用職員更衣室清掃活動
- 2月28日 各部署より5名の参加。食堂窓清掃活動
- 3月28日 各部署より5名の参加。センター玄関周り清掃活動

4 まとめ

年度当初は、写真を撮るのを忘れて、稟議書通りにできなかった活動もあった。当日の朝礼の時に係が活動内容について伝えることを忘れる事もあった。わずかな活動時間だったが準備を早めにしていて、活動時間になるとすぐに取りかかる事ができ、とても綺麗にして頂いた。

・ゴミゼロ啓発活動の取り組み

- 1 目的「いつも清潔で快適な環境を維持し、利用者さんや外来者さんに気持ちよく施設を利用して頂く。
- 2 取り組み内容：「各自が自発的に目の前にあるゴミや不要な物を片づける。汚れていたら自発的に綺麗にする。」という習慣が定着するための啓発活動の実施。
- 3 ゴミゼロ係が啓発ポスターを作り、各部署に貼って意識してもらう。

2 か月ごとに貼り替える。

4 まとめ

取り組みを始めるのが遅く、活動がほとんどできなかった。月初めにサイボーズで今月はどこを重点的に綺麗にしましょうと周知し、意識してもらった。ポスターを作り各部署に貼ってもらった。

(岩戸洋三、坂本美雪、長岡清美)

2 4 掲示物

- ・各方面から送付されてきた、広報誌や、情報、案内を 全職員にわかりやすく、少しでも早く、新しい情報の提供に努めた。
- ・活動内容は係員 3 名で一週間毎に交替で掲示物をサイボーズで周知した。(ともえ学園の掲示板に「広報物の紹介」というタイトルで作成し、 随時、広報物のタイトルやポイントを書き込んで行った。後ろに掲示期限も入れた。)
- ・掲示物は職員室に掲示し期限がきたら破棄する物と保存する物に分けた。

反省

- ・送られてきた物は出来るだけ早く周知し掲示するように心掛けたが、何日も放置する事があった。
- ・期限が来ても取り外しが出来てなかった。

(岡下チエミ、野曾原光裕、中岡健太郎)

2 5 消臭除菌

1 概要

生活棟・厨房・センターなど個室・廊下・トイレ・通路を中心にクリーンボーイ(噴霧機)を使用し消毒と加湿用それぞれ用途に応じて選択し使用した。

ほぼ毎日クリーンボーイは各生活棟で使用された。

消臭(エアーケム)の取り替えは2か月に一回の割合で7ヶ所の点検取り替え作業を行った。

安全に取り付けるために利用者の不在時間を利用し行った。

厨房内の殺虫(バルサン乳剤使用)

8月10日(日) 12月30日(火)年2回行った

クリーンボーイにタイマーをセットし夜勤者と確認しながらおこなった

下処理室側 21時~ 22時

主調理室側 23時30分~ 24時30分

(瀬川澄恵、岩戸洋三、渡邊 武、佐々木拓実)

2 6 人権委員会

1 目標

- ・利用者さん、職員同士に於いても人権侵害、暴力、暴言は絶対に行わない。
- ・人権侵害にならない言葉遣いを身に付け、対人支援技術の向上を目指す。
- ・体罰を用いた支援を絶対に行わない。
- ・プライバシー保護への配慮をする。

2 具体的重点目標

- ・利用者の呼称は、「さん」付けで統一する。
- ・叩いたり蹴ったりはもちろん、威圧的、権威的、命令的な口調でなどの働き掛けはしない。

3 取り組み

- ・昨年度の反省を含めて2ヶ月に一度、会議で話し合ってもらう。（議題については人権委員より掲示）
- ・朝礼時、行動規範8箇条の中から3条を唱和する。
 - －さんづけで呼び、呼び捨てやちゃんづけはしてはならない。
 - －「どうして～するの！」のような上下関係での叱責語は使用してはならない。
 - －「だめよ！」「～しなさい」のような上下関係での命令語は使用してはならない。
 - －入浴や食事が遅くても、せかしたり、叱ったりしてはならない。
 - －乱暴な言葉は使ってはならない。
 - －「いい?!」「わかった?!」と無理やり納得させない。
 - －「後で」という言葉のみで済ませない。
 - －高圧的で、威嚇するような態度はとってはならない。

4 各月の議題

- ・5月 ・呼称について
- ・7月 ・暴言、暴力についての対応について
- ・8月 ・人権侵害はないか。夜勤等で困った事はないか。
- ・9月 ・職員室に掲げている8箇条について意識出来ているかどうか。
 - ・夜勤の時など8箇条について、難しい場面もあると思うが、こんな時に失敗したと言う事は無かったか。
- ・11月 ・利用者全体を見たときに人権の取り組みとして、活動、日常場面・食事場面の配慮が出来ているかどうか？
 - ・その他に今年度から始まった行動規範の8箇条の中から、「後で」という言葉で待ってもらったときには必ず後から対応します。は出来ているかどうか？
- ・12月 ・行動規範の継続や内容の見直しについて
- ・1月 ・利用者の方のいる前で他の利用者さんの情報交換、プライバシーに関する話を話していないか？

5 まとめ、今後の課題

毎月会議で議題を上げていくことや行動規範を唱和することで人権に対しての意識付けが出来ようになってきていると思う。しかしまだまだ徹底出来ていないので今後も職員全体で取り組んでいかなければならないと思う。

（有田貴之、中岡健太郎、山地恵子、藤川幸子、宮崎静美）

2 7 見学者

1 概要

電話での依頼により、見学日、内容等の希望を聞き、行事予定表に沿って日程調整を行った。特に、利用者の生活棟の見学については、利用者への影響や、プライバシーの保護を優先し、時

間帯をずらせたり時には見学を中止したりなど十分な配慮を行い実施した。

2 見学受入日

- | | | |
|----------|-----|--------------|
| ・ 6月27日 | 27名 | 民生委員・児童委員協議会 |
| ・ 9月6日 | 2名 | 一般（入所希望） |
| ・ 9月17日 | 1名 | 一般 |
| ・ 9月29日 | 13名 | 民生委員・児童委員協議会 |
| ・ 11月19日 | 27名 | 一般 |
| ・ 3月11日 | 2名 | 一般（入所希望） |

（古栗 慎）

2 8 防災

1 目的

- ・ 災害発生時は、速やかで適切な対応となるよう危機管理体制を充実させる。
- ・ 消防訓練を反復し疑似体験を積むことを重要とし訓練を積む。
- ・ 緊急時への対応能力向上を図る。

2 防災研修会の実施

1) 研修内容

利用者不明時の対応

日勤帯、夜勤帯の連絡方法など

施設個所の確認

危険物の取り扱いと理念

日常的な利用者の所在確認と要注意事項

消防関係

「防災マニュアル」を資料として基礎知識を習得

消防設備及び施設設備を実地見学

AED、人工呼吸器、吸引掃除機の設置場所、操作説明

- ### 3 緊急時の対応として、「吸引掃除機」を食堂の手洗いの下に、いつでも使用出来る状態で保管、点検も随時行っている。「人工呼吸器ユニット118番」と「AED」は職員室と医務室に常置し、随時所在やバッテリー状況を確認している。

4 消防訓練実施状況（ は防災リーダー）

4月18日 金曜日 昼間の総合訓練 訓練者： 高田・全員

5月23日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 香川・堂西・佐々木

6月27日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 野曽原・岩戸・山地

7月28日 月曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 渡邊・相川・掛川

8月25日 月曜日 消防署立ち会い夜間想定総合訓練 訓練者： 木村・福永・魚見

消防署へ消防訓練実施計画書・結果報告書提出

9月16日 火曜日 昼間の総合訓練 訓練者： 香川・全員

10月17日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者： 藤田・竹間・兼藤

10月より防災リーダー未経験者を主に防災リーダーとして訓練を実施した。

- 1 1月21日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：中田・若床・長岡
1 2月12日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：有田・高場・山地
1月20日 火曜日 昼間の総合訓練 訓練者：全員
2月20日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：荒瀬・中岡・塚本
消防署へ消防訓練実施計画書・結果報告書提出
3月19日 木曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：桑田・山下・岩岡

5 消防設備点検

年2回実施 平成20年9月・平成21年3月 業者委託により実施。

(宮崎静美)

2 9 朝礼

1 概要

夜勤者以外の全出勤者が職員室に集まり、9時より実施した。

開会挨拶、身嗜みのチェックから始まり、園長、事務長、支援部長、各グループ、栄養課長、事務、厨房、全体係、その他からの報告、予定などの報告、行動規範の唱和を受け、最後に閉会挨拶で終了する。

(古栗 慎)

3 0 運営会議

1 概要

各部署の代表者で構成され、毎月、月初めを予定し協議した。

会議では、利用者主体の指針を見失わないように、問題提起、課題検討、日程調整等を行い、施設のより円滑な運営と利用者サービスの向上を目指した。

資料など、紙は一切使用せず、プロジェクターを利用して、随時必要な情報はインターネットからも収集し会議を進めた。

日々の情報は速やかにパソコンのグループウェアで周知され、会議では報告等が削除されることにより、必要な内容を掘り下げ討議できるようになった。

会議後は速やかに運営会議録をまとめ、即日、全員に周知した。

(古栗 慎)

3 1 安全運転管理者

1 目標

- ・交通安全に対する意識を高め、交通ルールの遵守と人に優しい交通マナーを実践し交通事故、交通違反を防止する。
- ・車輛の点検、整備を実施し車輛の故障、整備不良による事故が発生しないよう注意する。

2 内容

- ・トライザセーフティinひろしまへ8チーム参加
- ・安全運転啓発の図書、垂れ幕を掲示
- ・各季の交通安全運動の周知

- ・安全運転管理者協議会からのメールマガジンを抜粋し周知
- ・車輛の点検、整備を業者に依頼

整備状況

・軽トラック	広島41	と	3080	4月...	6ヶ月点検	10月...	24ヶ月点検
・軽乗用車	広島50	に	3113	9月...	6ヶ月点検	3月...	24ヶ月点検
・普通乗用車	広島530	と	5130	6月...	6ヶ月点検	12月...	12ヶ月点検
・普通乗用車	広島330	さ	5130	7月...	6ヶ月点検	1月...	12ヶ月点検
・マイクロバス	広島230	さ	5130	6月...	3ヶ月点検	9月...	3ヶ月点検
				12月...	12ヶ月点検	3月...	3ヶ月点検

3 まとめ

- ・トライゼーフティinひろしまへ参加した8チーム中3チームが、150日間無事故、無違反を達成する事ができたが、物損事故や、速度超過などの違反が数件あり目標を達成できないチームが多かったので残念だった。
- ・安全運転に努めて頂くよう、引き続き啓発運動を行っていきたい。
- ・定期的な車両点検を実施し、今後も整備不良による事故が発生しないよう注意をしたい。

(高田孝康)

3.2 危険物取扱者

1 概要

地下タンク貯蔵所の灯油漏れを未然に防ぐため法律で定められた点検を定期的に行っている。

2 内容

- ・毎月、掲示板、漏油検知管、通気管、消火器の有無等の点検を行った。
- ・1月9日 消防法に基づく危険物取扱者保安講習を受講した。

(後田喜代子)

3.3 福祉協会

1 概要

広島県知的障害者福祉協会スタッフ部会に部員として登録

- ・H20、6月・12月・H21、2月に支援スタッフ圏域会議に参加。
ひとは作業所、清風会、子鹿学園、さくら学園、もみじ学園、ともえ学園の6施設で、支援に対する情報交換会を行う。
- ・2009年9月に広島で「全国知的障害者職員研究大会」が開催されるので、それに向けての話し合いを行った。
- ・生活支援部会全国大会に出席する。
- ・新体制に移行される施設もあり、どの施設も問題点を抱え試行錯誤しながら支援されていると感じた。

(木村美代子)

3 4 ホームページ

1 概要

施設のことを広く理解していただくため、情報公開と情報提供、施設の旬の様子を公開を目的に開設し運営している。

三次ケーブルビジョン「ピオネット」をプロバイダとして、10メガの容量で開設。

10メガだけでは不足するため、各種の無料のサイトを開設しリンクさせている。

複雑にならないよう簡素で、早くアクセスできる容量の軽いページ作成に配慮している。

2 内容

15以上のメニューを設け、さらに各メニューの中にも多数のページを掲載している。

各グループ、厨房、事務については毎日出来事を更新し、さらに園長、支援部長のブログも掲載。

ウェブカメラにもリンクさせ、施設のライブ映像を自由に閲覧できることとしている。

ともえ会本部、子鹿学園、こじか荘とも相互リンクし、規程などについては共有している。

毎月1日には、必ず定期的に更新する箇所を更新すると共に、随時、変更、修正、追加を行う。

3 まとめ

平成13年10月に開設以来、7年半が経過してアクセス数も10万件を突破した。

今年度は新たに、フォトアルバム、年間予定表、ホームページアクセスカウンター記録というコンテンツも追加しました。

今後も、個人情報に充分配慮しながら、施設への理解をより深めていただくために旬の情報を提供していきたいと思う。

(前岡孝司)

平成20年度 事業報告書

平成21年5月23日発行

発行人

ともえ学園 (知的障害者更生施設)

園長 前岡孝司

〒728-0002

広島県三次市西河内町250番地

Phone 0824-62-5130

Facsimile 0824-62-1934

E-mail : tomoe@p1.pionet.ne.jp

URL : <http://www.pionet.ne.jp/tomoe/>
